

AGC

30th

☆☆☆☆ Anniversary
1982~

安心と信頼の積み重ね

BONNIFLON®

30年の軌跡

AGCコーテック株式会社



BONINFLO[®]
30th
★★★★ Anniversary
1982~

1982-1990
【誕生】

Birth

誕生から8年、成長の一途を辿るボンフロンは、1982~1990年の間で様々な工法や新塗料の開発を進めました。

- P7 ルミフロン・ボンフロンの誕生
- P9 施工例
- P11 「誕生」世代座談会



History

1991-2000 【成長】

Grow

1991～2000年の間に、世界初の水性フッ素樹脂塗料の開発に成功するなど、ボンフロンはさらなる成長を遂げました。

- P13 ボンフロンの成長
- P14 施工例
- P19 「成長」世代座談会

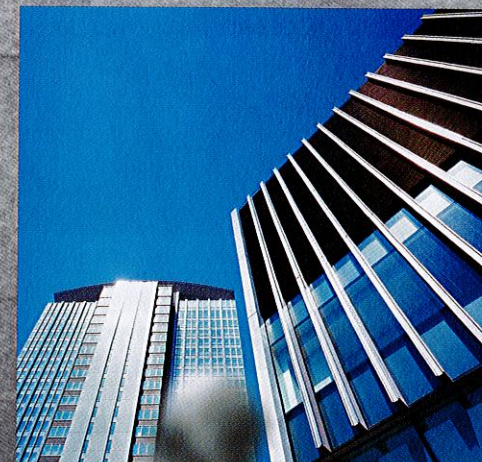


2001-現在 【進化】

Evolution

2001～現在に至るまで、ボンフロンは完全艶消しフッ素塗料の開発やボンフロンライト工法など、時代を先駆けた進化を続けています。

- P21 ボンフロンの進化
- P22 施工例
- P31 「進化」世代座談会



成長と進化を続けるボンフロン、30年の軌跡

1982年の誕生から今日まで、フッ素樹脂塗料「ボンフロン」は常に成長と進化の過程を経てきました。

皆様に安心と満足をおとどけするために。

ボンフロンの歴史と、進化の過程をご覧ください。

concept

TRUST

AGCコーテックは
“信頼”を最も大切にしています。

AGCコーテックはフッ素樹脂塗料のリーディングカンパニーとして
お客様に安心と大きな満足をお届けいたします。

宣誓

お客様に安心と
大きな満足をお届けいたします。

New&High
Technology

研究・開発を重視し、
技術を極めます。

Environment

環境を改善します。

Quality

品質にこだわり続けます。

Client

ビジネスパートナーとの
絆を強固なものにします。

Contents

TRUST 信頼……………P.3
ルミフロン・ボンフロンの特長……………P.5

ボンフロン誕生トビラ……………P.6
ルミフロン/ボンフロン誕生……………P.7
誕生世代施工例
・後楽園ホール/新宿 伊勢丹……………P.9
・ラフォーレ琵琶湖/史跡 湯島聖堂大成殿/
新宿三井ビル……………P.10
「誕生」世代座談会……………P.11

ボンフロン成長トビラ……………P.12
ボンフロン成長……………P.13
成長世代施工例
・東京海上火災本社ビル/大阪城天守閣…P.14
・魚津テクノスポーツドーム/豊島清掃工場煙突…P.15
・大阪国際会議場/岩手県立美術館…P.16
・沖縄美ら海水族館/電源開発揚湾火力発電所サイロ…P.17
・東北大学情報科学研究科実験棟/
霞城セントラル/西田幾多郎記念哲学館…P.18
「成長」世代座談会……………P.19

ボンフロン進化トビラ……………P.20
ボンフロン進化……………P.21
進化世代施工例
・新宿センタービル/大林組本社ビル…P.22
・時事通信本社ビル/秩父市歴史文化伝承館…P.23
・Beverly Hills Tai Po/
秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校…P.24
・北上文化センター さくらホール/東京ビル…P.25
・IHI本社ビル/岩手看護短期大学…P.26
・松江市立病院/国立新美術館…P.27
・海城学園/鳥取県産業技術センター…P.28
・那覇沈埋トンネル三重城換気所/
三瓶山自然館サヒメル/
青山学院記念館(大学体育館)…P.29
・地球市民交流センター/NACK5スタジアム大宮…P.30
「進化」世代座談会……………P.31

施工事例集……………P.33

時代を先駆けた
フッ素樹脂塗料、

BONNIFLON[®]

この30年、大切な資産を護ってきた
フッ素樹脂塗料「ボンフロン[®]」。

旭硝子で開発されたフッ素樹脂「ルミフロン[®]」を原料に、
耐候性・防食性能を兼ね備えた塗料は、
時代の先駆けとして常に塗装業界をリードしてきました。



フッ素樹脂「ルミフロン[®]」

天然石の蛍石から作られた塗料用フッ素樹脂「ルミフロン」は分子の強い結合力が特長。

フッ素モノマーとビニルエーテルが交互に配列されていることで、強い結合エネルギーを生み、色褪せなどに強い樹脂として開発されました。

BONNIFLON[®]

フッ素樹脂塗料「ボンフロン[®]」

ルミフロンを原料とし、顔料と溶媒から作られた「ボンフロン」の特長は、格段に優れた耐候性にあるといえます。また、クリアーから多彩な色づかいにまで対応し、塗り重ねも可能です。艶調整も幅広く、あらゆる建造物に対応します。



30th anniversary

BONNFLO[®]

MUSEUM

Museum History of BONNFLO[®]

1982-1990

【誕生】

Birth

1982年、常温硬化型フッ素樹脂塗料としてBONNFLO[®]が商品化しました。その後1990年までの8年間で、「C工法・P工法・M工法・E工法・ボンフロ[®]AC工法」を開発し、市場での認知度を高めてきました。

P8 ボンフロ[®]の誕生

P9 施工例

P11 「誕生」世代座談会

時代を先駆けたフッ素樹脂塗料



ルミフロンの®の誕生

ルミフロンは、旭硝子のフッ素技術により1982年に商品化された世界で初めての溶剤可溶性塗料用フッ素樹脂です。ルミフロンは、フッ素樹脂の特性を損なうことなく常温硬化を可能にしました。フッ素樹脂の原料は蛍石です。世の中の期待を背負い、耐候性に優れた強い樹脂として誕生しました。



●ルミフロンの分子配列

フッ素モノマーとビニルエーテルが交互に結合をしていることで強い耐久性を実現しました。



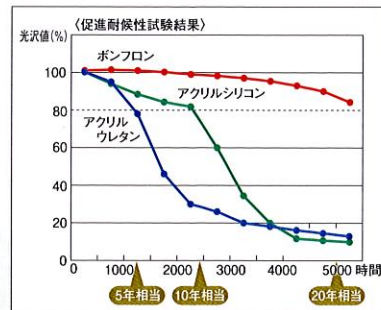
ⓕ=フッ素モノマー ●=ビニルエーテル

BONINFLON®

ボンフロンの誕生

ボンフロンは、AGCコーテックの塗料化技術により1982年に商品化されたフッ素樹脂塗料です。旭硝子で開発されたフッ素樹脂「ルミフロン」と顔料、溶媒から作られます。その優れた耐候性により塗り替え回数の大幅な低減と同時に溶剤排出量の抑制を実現した環境にもやさしい塗料です。

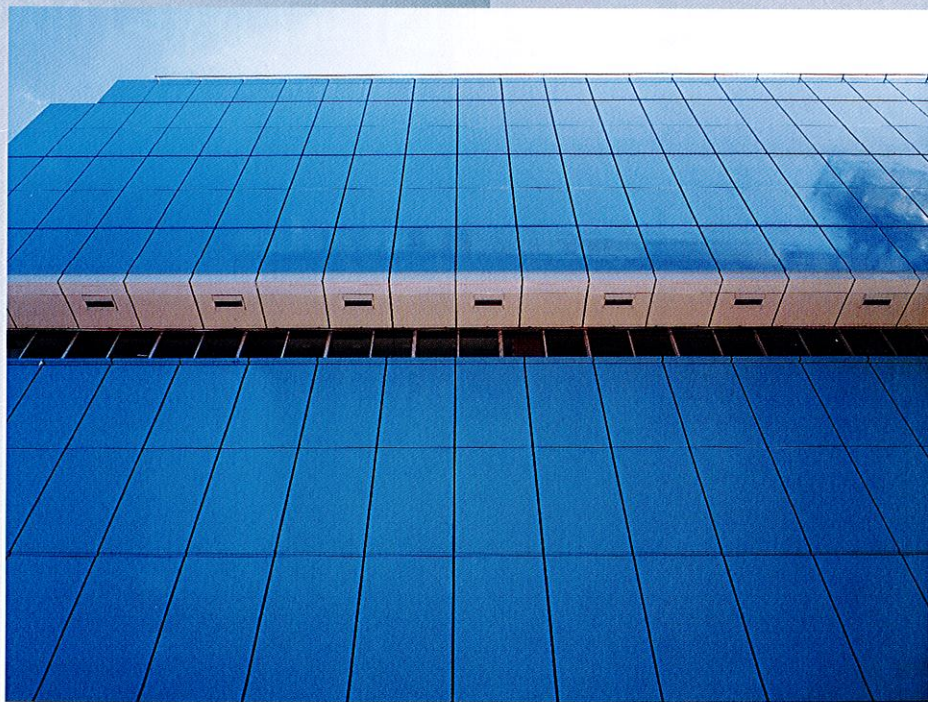
商品化された1982年には、初の大型実績として「後樂園ホール」の採用がありました。そこから30年、数多くの建物に採用されています。
ボンフロンは、大型建築物や煙突、鉄塔など優れた耐久性を要求される建築物に適しています。



1982-1990

1982-1990

施工例



CASE 1 後楽園ホール

ボクシングやプロレス等格闘技のメッカとなっている「後楽園ホール」のライトブルーはボンフロンCの最も著名且つ古い施工実績です。パネル単位で養生してなるべく小面積で仕上げました。

- 所在地：東京都文京区後楽
- 竣工：1983年(昭和58年)
- 設計：日建設計
- 施工：竹中工務店
- 下地素材：GRC
- 塗装工法：ボンフロンC



CASE 2 新宿 伊勢丹

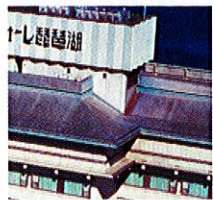
既存のイメージを損なうことなく長期に美粧性を再現・維持することを要求された改修工事でした。熟慮の末、既存タイルと同じ模様にしたGRC板にタイルと同色のフッ素樹脂エナメルを塗装し、壁面を覆う方法を採用しました。四半世紀過ぎた今もしっかりと重厚な建物の風格を魅せております。

- 所在地：東京都新宿区新宿
- 竣工：1985年(昭和60年)
- 設計：清水建設
- 施工：清水建設
- 下地素材：GRC
- 塗装工法：ボンフロンC



CASE 3 1985 ラフォーレ琵琶湖

開発間もない弾性吹付タイル向けの工法が採用されました。琵琶湖畔に位置していますが、現在もしっかりと塗膜が建物を保護しています。



- 所在地：滋賀県守山市
- 竣工：1985年(昭和60年)
- 設計：レーモンド設計
- 施工：竹中・前田共同企業体
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンE



CASE 4 1988 史跡 湯島聖堂大成殿(改修)

湯島聖堂は江戸時代に5代将軍徳川綱吉によって建てられた孔子廟であり、国の史跡に指定されています。当時の建物は関東大震災により焼失し、現在の大成殿は1935年に再建されたものです。1956年(財)斯文会が史跡管理団体として管理を委託され、1986年度より保存修理の工事が行われました。大成殿は20年以上経過しながらも漆黒の色調を魅せています。

- 所在地：東京都文京区後楽
- 竣工：1988年(昭和63年)
- 施工：大林組
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンC



CASE 5 1989 新宿三井ビル(改修)

黒いアルミのカーテンウォール面に溶剤のクリアーで仕上げました。濃い色のアルミは熱吸収が高く、夏場はさわれないくらい的高温になります。その熱にも耐えられる塗料としてボンフロンが採用されました。

- 所在地：東京都新宿区西新宿
- 竣工：1989年(平成元年)
- 下地素材：アルミカーテンウォール
- 塗装工法：ボンフロンMクリアー

Discussion

30年のあゆみ 座談会 1982-1990【誕生】編

- 早いもので、入社して40年になったよ。
- えー!ということはボンフロン歴史の全てを知っているということ?
- そうだよ。「苦しかったことも楽しかったこともボンフロンともにあり!」というところかな。
- 40年前に入社して、10年くらいしてフッ素が登場ですか? その頃の話が聞きたいな。
- まー、うちの会社の「生き字引」だからね。
- 忘れちゃ困るよ、私も「生き字引」だよ。

スタートは、「苦しみとともに」だった。

- うちのフッ素は建築分野から始まったのですか?
- もちろん。だって「ボンタイル」で創業だから、建築業界ではそれなりの知名度を持った存在だった。
- その後、旭硝子コートアンドレジンになっても「なんだボンタイルか。早く言えよ」なんて言われていたもんだよ。
- そんなに知名度が高かったのならフッ素もすぐ売れたんでしょ?

北本 透
コーティング
事業部



岩田 洋
塗料事業部



杉本 修二
コーティング
事業部



池田 勝計
業務部



- とんでもない。さっき話したろう「苦しみとともに」だよ。
- なにせ販売する自分がよくわからないまま「フッ素・ふっそ・フッソ:ボンフロン」と言っていたんだから。
- 最初はだめでしたか。
- 施工店さんから「そんなに長持ちするんじゃないか」なんて具合。

●そんな中でも、ボンフロンは「きれいで長持ち」が特徴だから、施工店さんとよく勉強会・研修会をやったね。

- ボンタイル時代に「ボン親会」があった。その後「ボンタイル材工システム会」に発展し、これを母体として「ボンフロン会」を設立し、「信頼施工」をなんとしても確立する必要があったんだ。
- 今から考えると、これ等の会の存在は大きかったと思うよ。
- それでも決して順調な滑り出しとはいかなかったけどね。

●ボンフロン歴史は一言でいうと?

- 一言なんかでは語れない!
- わかりました。ではいくつかの切り口をお願いします。
- まずは「溶剤か水性か」
次に「意匠」
3つ目が「常温か焼き付けか」
4つ目が「用途・分野」
5つ目が「機能」6つ目は「環境」

現在は溶剤のなかでも弱溶剤やハイソリッド型、水性でもいくつかのタイプに枝分かれし、更に粉体のニーズも日増しにたかまってきた。

- 要するにお客様の要望に応える、あるいは先取りしようとする歴史ということですね?
- その通り。

●新商品として最初に手がけた物件は忘れたいものでしょう?

- 溶剤で始まったボンフロンだけど、水性のエナメルで初めてマンションの改修の案件がでた。
- 嬉しかったけれど、心配もあり真剣に対応したよ。おかげできっちり仕上げでお施主さんには喜んでいただいた。
- 低汚染型については他素材の塗料に先行されたけれど技術陣の必死の努力で良いものができた。
- 建築で先行しそのあと、思い出深い分野はどんなものがありますか?
- ひとつは「プール」かな。なんと北海道が初めてで、評判良くて、口コミでしばらく北海道だけだった。
- その後各地に広がっていったんですね。
- 焼き付け分野も最初は苦労の連続だったな。開発陣も営業も。お客様も半信半疑だったからほんの少量で100kg未満で始まった。懐かしい思い出!

「フッ素」は感動が得られる、やりがいのある商品。

- 鋼構造物に本格的に取り組んだのはなにがきっかけだったんですか?
- 送電鉄塔からだね。
- フッ素の実績が皆無であった頃、試験塗装した物件を何年もかけて追跡調査を重ね、ようやくその性能に信頼を置いていただいた。
- 採用頂いた晩は、嬉しくて泣いたよ。一睡もできなかった。
- 若かったから感受性も豊かだったんですね。
- フッ素は、まだまだ新規の用途の開拓段階なので、こういう「感動」が得られる。やりがいのある商品だよ。



30th anniversary

BONIFLON[®]

MUSEUM

Museum History of Boniflon

1991-2000

【 成 長 】

Grow

1991年から、世界初の水性フッ素樹脂の商品化や新たな工法の開発等、ボンフロンは誕生から成長の過程を辿ります。特に水性フッ素樹脂の誕生で、時代のニーズに応えさらなる飛躍をすることとなりました。

P13 ボンフロンの成長

P14 施工例

P19 「成長」世代座談会

「長く、いつまでも美しく」ニーズに応えた成長を続ける

BONNIFLON® ボンフロン®の成長

1. 水性フッ素樹脂塗料の商品化

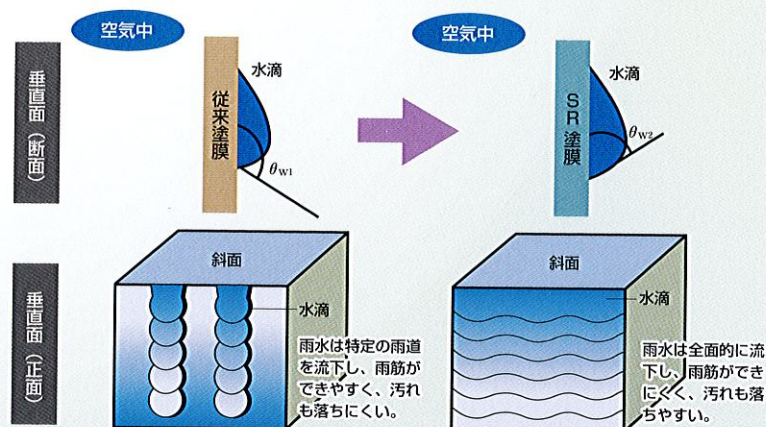
1991年、世界初の「水性フッ素樹脂塗料」の商品化に成功しました。塗料中の溶媒を「水」にすることで、安全性に優れたものになりました。もちろんフッ素樹脂の特性である耐候性が損なわれることはありません。長寿命を水性でも実現。新たな幕開けです。



2. 低汚染型フッ素樹脂塗料(SR)の商品化

1994年には低汚染型フッ素樹脂塗料の商品化に成功しました。従来性能である長寿命に加え、低汚染化により美しく建物を保護していきます。油性成分を含む都市型汚染による雨筋汚れを低減化するために、塗膜表面を親水・撥油化しました。降雨時に汚染物質を雨水と共に洗い流す自浄機能を付与し、「長く、いつまでも美しく」を実現しました。

※SR=Soil Release



1991-2000

施工例



CASE 1 1994 東京海上火災 本社ビル(改修)

タイルの劣化促進を防ぐために、竣工後フッ素クリヤーで仕上げました。この実績を基にボンフロンTR(タイルリニューアル)工法が開発されました。

- 所在地：東京都千代田区丸の内
- 竣工：1994年(平成6年)
- 施工：竹中工務店
- 下地素材：磁器タイル
- 塗装工法：ボンフロンCクリヤー



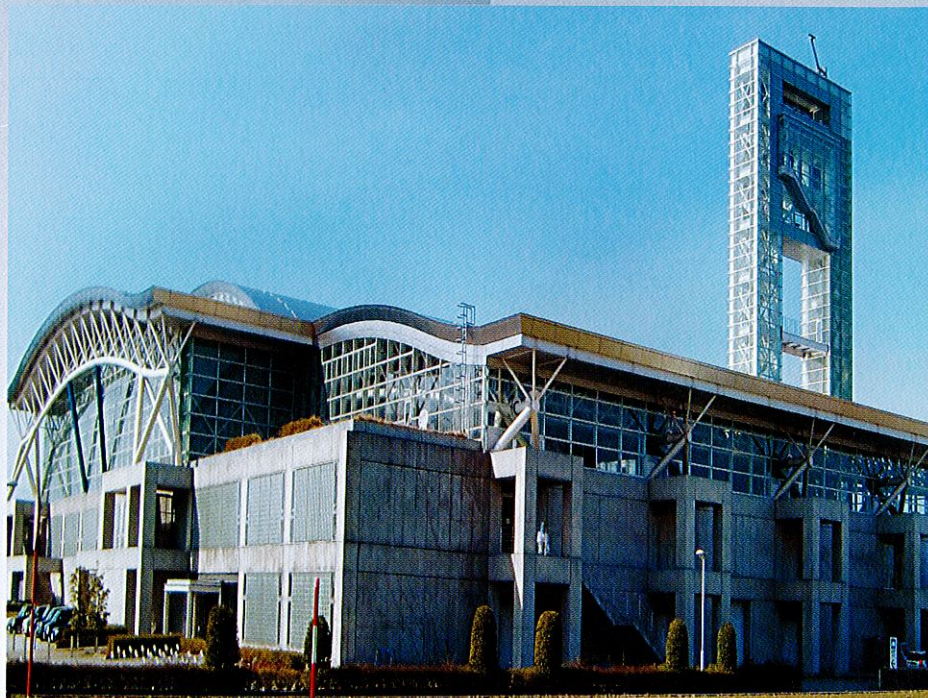
CASE 2 1997 大阪城天守閣(改修)

大阪城天守閣のPC面に「ボンフロンC工法」をご採用して頂きました。色調が濃彩色である為に耐候性の良いフッ素2回塗りで施工した物件です。施工して13年が経過しましたが、塗膜の状態は良好です。

- 所在地：大阪府大阪市
- 竣工：1997年(平成9年)
- 設計：東畑建築事務所
- 施工：大林組
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンC

1991-2000

施工例



CASE 3
1998

魚津テクノスポーツドーム

富山湾に面した、スポーツ施設です。塩害対策として、鉄部、打ち放しコンクリート面に採用されました。コンクリート面はもちろん鉄部の錆はほとんどなく、現在でも健全な状態を保っています。

- 所在地：富山県魚津市
- 竣工：1998年(平成10年)
- 設計：久米設計
- 施工：竹中工務店
- 下地素材：鋼材、コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンHBM、AC



CASE 4
1998

豊島清掃工場(煙突)

ローラーで塗装しましたが、塗装中の塗料の飛散を考慮してボンフロン「飛散低減タイプ」が採用されました。本件の実績を評価され、渋谷の清掃工場の煙突もボンフロン「飛散低減タイプ」が採用されました。

- 所在地：東京都豊島区上池袋
- 竣工：1998年(平成10年)
- 設計：大林組
- 施工：大林組
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンC、飛散低減型



CASE 5
1999

大阪国際会議場

「ボンフロン水性AC工法」を開発してわずか2年目でしたが、「ボンフロンACドライ工法」の実績が認められご採用いただきました。意匠的にきれいに仕上がりに、お客様のご満足をいただいた物件です。

- 所在地：大阪府大阪市
- 竣工：1999年(平成11年)
- 設計：黒川紀章建築都市設計事務所
- 施工：竹中工務店共同企業体
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロン水性AC



CASE 6
1999

岩手県立美術館

コンクリートの個性を出す為に、本物の木を一定のサイズで切った型枠でコンクリートを打設して「本実(ほんざね)」と呼ばれる壁面に仕上げられています。「本実」の風合いを生かすため、「ボンフロン水性フッ素クリヤー」を塗布し艶消して仕上げました。

- 所在地：岩手県盛岡市
- 竣工：1999年(平成11年)
- 設計：日本設計
- 施工：佐藤工業JV
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロン水性AC

1991-2000

施工例



CASE 7
2000

沖縄美ら海水族館

沖縄美ら海水族館は、国営沖縄記念公園の海洋博覧会地区の新たな拠点として2002年11月1日に開館しました。沖縄地区の強烈な紫外線から建物を保護する為に優れた耐候性が要求されました。現在も沖縄の過酷な環境の中建物を保護しております。

- 所在地：沖縄県那覇市
- 竣工：2000年(平成12年)
- 設計：国建
- 施工：鹿島建設
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンAC



CASE 8
2000

電源開発橘湾火力発電所サイロ

本火力発電所は四国電力との共同立地により合わせて280万KWという日本有数規模の石炭火力発電所です。サイロ壁面に塗装されているボンフロンは、陸揚げされた石炭の貯蔵庫を太平洋からの強烈な潮風からしっかりとガードしています。

- 所在地：徳島県阿南市
- 竣工：2000年(平成12年)
- 設計：開発設計
- 施工：鹿島建設
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンHBC-SR



CASE 9
2000

東北大学情報科学研究科実験棟

低層から高層まで色合いや風合いを整えるためカラークリヤーの塗布量を各層で調整しながら施工した物件です。

- 所在地：宮城県仙台市
- 竣工：2000年(平成12年)
- 設計：東北大学施設部
- 施工：前田建設工業共同企業体
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンACドライ



CASE 10
2000

霞城セントラル

塗装の課題として、カラーPC板の色を損なわないように仕上げなければならなかったので中塗材をカラーPC板と同色にして色の变化を抑えました。仕上げは、フッ素樹脂クリヤー艶消しです。

- 所在地：山形県山形市
- 竣工：2000年(平成12年)
- 設計：日建設計
- 施工：大成建設共同企業体
- 下地素材：プレキャストコンクリート、コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンACドライ-SR



CASE 11
2000

西田幾多郎記念哲学館

石川県出身の哲学者、西田幾多郎記念哲学館にボンフロンをご採用頂きました。ガラスとコンクリートが調和しモダンな建物となっております。日本海に近い為に塩害対策として耐候性の良いフッ素樹脂塗料が使われており、現在も建物を保護しています。

- 所在地：石川県かほく市
- 竣工：2000年(平成12年)
- 設計：安藤忠雄建築研究所
- 施工：竹中工務店JV
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンAC

Discussion

30年のあゆみ 座談会 1991-2000【成長】編

●何年入社だった?

●昭和61年、1986年だよ。

●ボンフロンを発売して4年目だね。

●バブルの始まりでそれから数年間は毎月売上更新で営業は鼻高だった。でもそのバブルもはじけたあとは散々だったけどね。

フッ素、フッ素と言いながら、

●ボンフロンの販売は、最初は営業の全員が係わっていたわけではなく、ある程度のベテランだけが担当していた記憶がある。

●当時は結構難しい商品だったし、設計事務所担当とか経験豊富な、顔が売れている中堅クラス以上の営業がPRに回っていた。

吉田 康裕
塗料事業部



安達 潤
東北支店



元井 義則
業務部



高橋 恒一
西日本支店



- 新人には無理と思われていたんだね。
- だって、当時は「フッ素ってなに?」くらいだったもの。
- PRするほうも「実績は?」と聞かれてオドオドしてたもの。

●建築業界は保守的なところと進取の精神と両方あって、フッ素は最初は苦労したけど、設計会社さんや元請さんで、ファンになってくれた方がいましたね。

●そうそう。特に気合いの入った案件にはぜひともフッ素を入れるという具合に。

●おかげで、私はかなり著名な案件を手掛けさせてもらった。今も立派な姿で、問題なくその威容をみせてくれている。

●嬉しい限りだね。

●当時フッ素ばかりPRしていたんで、社内では「フッ素くん」と冷やかされていましたよ。

●今も相変わらず「フッ素くん」だね。

なかなか売れなかった。

- うちのフッ素がブレイクしたのは何がきっかけだったかな?
- うーん、なんといっても「ACドライ」なんじゃないか?
- 新潟のトンネルが皮切りだったと思う。

●その後「打ち放し」案件が目白押しだったし、うちの商品の仕上がり良くてずいぶん評判になった。

●建築でフッ素と言えば、うちの会社の「ACドライ工法」が中興の祖かもしれないね。

●私も入社して既に20年を超えたけど、フッ素の種類もずいぶん増えたもんだね。

●種類だけでなく、対象市場も対象基材も、工法も。

●それだけ市場で、フッ素への期待が大きいのということなんだろうね。

フッ素がブレイクしたのは、 「ACドライ」がきっかけ。

●常乾の強溶剤系で始まったけど、その後水系、弱溶剤、粉体へ。機能面では低汚染・遮熱・落書き防止・落雪・UVカットなどなど。

●意匠性もかなり求められてるね。艶のあり無しはもちろん、石材調・土壁調など。

●VOC削減・LCCの観点からさらに「ハインソリッド型」や従来のボンフロンにさらなる耐候性を付加した製品などなど。

●課題は満載だね。だからやりがいもあるんだよね。



30th anniversary

BONIFLON

MUSEUM

Museum History of Boniflon

2001-現在

【進化】

Evolution

現在に至るまで様々な成長過程を経たボンフロンは、2001年以降さらなる進化を見せています。世界初の完全艶消し水性フッ素樹脂塗料・落書防止クリヤー・太陽熱高反射率フッ素樹脂塗料の開発など…より深く、確かな信頼を得られる努力を続けています。

P21 **ボンフロンの進化**

P22 **施工例**

P30 **「進化」世代座談会**

「もっと」を可能にする進化を目指して

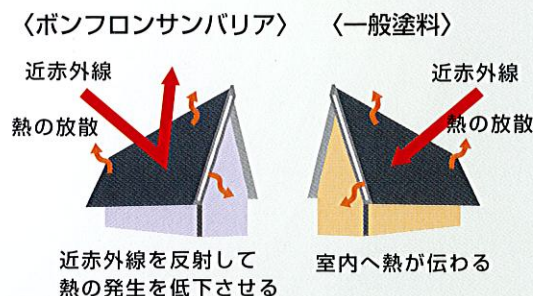
BONNIFLON® ボンフロン®の進化

1. 意匠性の充実

ボンフロン誕生から19年が経ち、従来の工法に加え様々な高意匠商品が開発されました。自然のぬくもりがある土壁調水性フッ素、高級感のあるセラミック調水性フッ素など従来の塗装工法とはちがった特徴ある仕上げが可能となりました。

2. 機能性の付与

また、本来の高耐候性に特殊な機能を付与し、付加価値をつけた塗料も登場しました。落書き被害対策のための落書き防止塗料、ヒートアイランド防止による温暖化対策や二酸化炭素排出量の削減にもつながる太陽熱高反射率塗料など。すべて高耐候性のフッ素樹脂塗料をベースにし、さらなる付加価値を付けております。



3. 環境対応型

近年の、環境への関心の高まりに対応する商品の開発も進めてきました。ボンフロン水性SRは、地球にやさしい水性塗料に低汚染機能を付加し、美しさと環境負荷低減の両方を実現する塗料です。さらに、揮発性有機化合物 (VOC) を大幅に削減しながら金属系躯体にも対応できる、弱溶剤塗料「ボンフロンライト」の開発にも成功いたしました。

2001-現在 施工例



CASE 1 2001

新宿センタービル(改修)

1979年(昭和54年)竣工時は地上54階、216m、日本の超高層ビルでした。当時はエポキシボンタイルで仕上げ、2001年(平成13年)には水性フッ素で塗替えをしました。

- 所在地：東京都新宿区西新宿
- 竣工：2001年(平成13年)
- 設計：大成建設
- 施工：大成建設
- 下地素材：プレキャストコンクリート(複層塗材RE)
- 塗装工法：ボンフロンWR-100



CASE 2 2001

大林組 本社ビル(改修)

PC面には「ボンフロンC工法」アルミパネルには「ボンフロンM-60工法」を施工しています。オールフッ素で仕上げた建物です。

- 所在地：大阪府大阪市
- 竣工：2001年(平成13年)
- 設計：大林組
- 施工：大林組
- 下地素材：アルミパネル、プレキャストコンクリート
- 塗装工法：ボンフロンM、C

2001-現在
施工例



CASE 3
2002 時事通信本社ビル

アーキテクチャルコンクリートで初のAC工法の施工例です。とても評判になり、アーキテクチャルコンクリートのクurer仕上げのお手本物件として現在も注目度の高い施工例です。

- 所在地：東京都中央区銀座
- 竣工：2002年(平成14年)
- 設計：鹿島建設
- 施工：鹿島建設
- 下地素材：プレキャストコンクリート
- 塗装工法：ボンフロンACドライーSR



CASE 4
2002 秩父市歴史文化伝承館

この建物は、屋上緑化・雨水の利用など環境に配慮した秩父の歴史文化のガイダンス機能を備えた複合施設になっています。見せ場である低層部ファサードの列柱廊を中心に素朴な打ち出しコンクリートを、フッ素樹脂クリヤーが保護しています。毎年この前が、秩父夜祭のメイン広場になります。

- 所在地：埼玉県秩父市
- 竣工：2002年(平成14年)
- 設計：日本設計
- 施工：高橋組
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロン水性AC-SR



CASE 5
2002

Beverly Hills Tai Po

香港最大のデベロッパー「ヘンダーソンランド社」の分譲販売住宅にボンフロンが採用されました。超高層マンションの多い香港では珍しい低層テラスハウスタイプの住宅です。「ボンフロンDEつち」を塗装することで、自然の風合い、ぬくもりを感じさせることに成功しました。

- 所在地：香港
- 竣工：2002年(平成14年)
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンパレ、つち



CASE 6
2003

秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校

秋田県初の中高一貫校。建築は3工区に分けて開始しました。塗装の課題としては、打ち出しコンクリートの色を3工区とも揃えることでした。部分補修部は、AC下地調整材を使用し、全体的にはカラークリアーコンクリート色を使用し施工を行いました。

- 所在地：秋田県横手市
- 竣工：2003年(平成15年)
- 設計：日本設計
- 施工：東急建設JV、五洋建設JV、横手建設JV
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンAC-SR

2001-現在 施工例



CASE 7
2003

北上文化センター さくらホール

上層部は、白色のカラークリヤーを使用してホワイトコンクリート風に仕上がっており、低層部は、コンクリート色のカラークリヤーを使用しています。打ち放しコンクリート仕上げですが、カラーを生かした仕上げになっています。

- 所在地：岩手県北上市
- 竣工：2003年(平成15年)
- 設計：久米設計
- 施工：鹿島建設共同企業体
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンACドライーSR



CASE 8
2005

東京ビル

日本経済の中心である東京駅近く丸の内にある33階、延べ床15万㎡のオフィスビルです。また、日本で初めて、特例容積率適用区域制度が適用された建物でもあります。ガラスのカーテンウォールと調和しながら、フッ素樹脂エナメルがコーティングされたPC板が爽やかさを魅せています。

- 所在地：東京都千代田区丸の内
- 竣工：2005年(平成17年)
- 設計：三菱地所設計
- 施工：鹿島建設
- 下地素材：プレキャストコンクリート
- 塗装工法：ボンフロンC-SR



CASE 9
2005

IHI本社ビル

軽量プレキャストコンクリートだったため、水分による膨れや、塗装後のクラック予防の為、ポリマー系下地調整材を塗布した後塗装を行いました。塗装部位が平滑ではなく、リブ（凹凸）の為、職人さんが相当苦勞されました。

- 所在地：東京都江東区豊洲
- 竣工：2005年(平成17年)
- 設計：日建設計
- 施工：清水建設共同企業体
- 下地素材：プレキャストコンクリート
- 塗装工法：ボンフロンC-SR



CASE 10
2005

岩手看護短期大学(改修)

平滑仕上げ風に仕上げ尚且つ、クラック追従性を与えるため微弾性フィラーをローラーで施工し、水性フッ素樹脂低汚染型塗料で仕上げました。

- 所在地：岩手県盛岡市
- 竣工：2005年(平成17年)
- 施工：大成建設
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンWR-100SC

2001-現在 施工例



CASE 11
2005

松江市立病院

島根県松江市の国道9号線沿いにある建物です。病院の為改修工事の頻度を減らすことのできる耐候性のフッ素樹脂塗料の採用となりました。

- 所在地：島根県松江市
- 竣工：2005年(平成17年)
- 設計：石本建築事務所
- 施工：大林組共同企業体
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンHBE

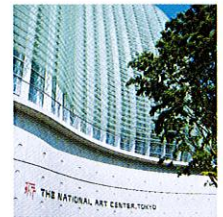


CASE 12
2006

国立新美術館

「森の中の美術館」として日本最大の美術館がトレンドの先端を行く六本木に誕生しました。六本木ヒルズと東京ミッドタウンを左右に従え、独特のデザインで話題を呼んだ黒川先生の作品です。フッ素樹脂クリヤーでコーティングされたRC・PCによって魅力あるカーテンウォールを演出しています。

- 所在地：東京都港区六本木
- 竣工：2006年(平成18年)
- 設計：黒川紀章建築都市設計事務所・日本設計
- 施工：清水建設
- 下地素材：コンクリート、プレキャストコンクリート
- 塗装工法：ボンフロン水性AC-SR





CASE 13
2007 **海城学園**

低層部が既存建物で免震層を挟み上部を増築しております。躯体はRC部とPC部とから構成された珍しい施工例といえます。山手線に乗りますと新大久保駅と高田馬場駅の間で内側にマンションの間からチラリと観ることが出来、味わい深い建物です。

- 所在地：東京都新宿区大久保
- 竣工：2007年(平成19年)
- 設計：前川建築設計事務所
- 施工：竹中工務店
- 下地素材：コンクリート、プレキャストコンクリート
- 塗装工法：ボンフロンDEつち



CASE 14
2007 **鳥取県産業技術センター(改修)**

「ボンフロンサンバリア」を開発して初めて施工した建物です。景観上、濃彩で施工したいとの意向があり、「ボンフロンサンバリア」は指定された色に調色が可能であった為に採用に至りました。

- 所在地：鳥取県米子市
- 竣工：2007年(平成19年)
- 設計：清水設計
- 施工：大協組
- 下地素材：鋼板
- 塗装工法：ボンフロンサンバリアHBM-60SR

2001-現在 施工例



CASE 15
2009

那覇沈埋トンネル三重城換気所

琉球石灰岩をイメージした建物です。紫外線と塩害から建物を保護する為にフッ素樹脂塗料の採用となりました。琉球石灰岩をイメージしたカラーコンクリートを使用している為にイメージを壊さないように施工する事に苦勞しました。

- 所在地：沖縄県那覇市
- 竣工：2009年(平成21年)
- 設計：日建設計
- 施工：西松建設
- 下地素材：コンクリート、プレキャストコンクリート
- 塗装工法：ボンフロンACDドライ-SR



CASE 16
2009

三瓶山自然館サヒメル(改修)

鳥根県の三瓶山にあり、自然環境を紹介している施設です。この地域は雪が多く、降り積もった雪が屋根を傷付け、施工前にはその箇所から点々と錆が発生していましたが、錆の処理を丁寧に行うことで、とてもきれいに仕上がりました。

- 所在地：鳥根県太田市
- 竣工：2009年(平成21年)
- 施工：あおき
- 下地素材：鋼板
- 塗装工法：ボンフロンサンバリアHBM-60SR



CASE 17
2010

青山学院記念館(大学体育館)(改修)

大学体育館の耐震補強工事を行った際に、館内の暑さ対策としてボンフロンサンバリアが採用になりました。屋根が折板のリブ(「J」)だった為、施工には苦勞しました。

- 所在地：東京都渋谷区渋谷
- 竣工：2010年(平成22年)
- 施工：大林組
- 下地素材：鋼材
- 塗装工法：ボンフロンサンバリアHBM-SR

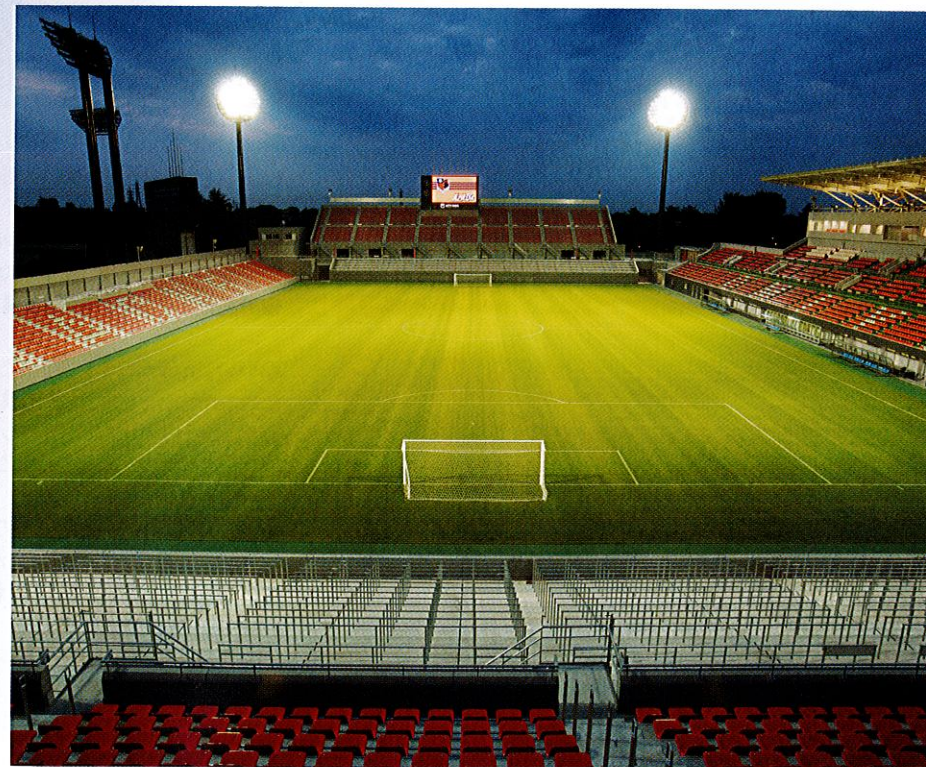


CASE 18
2010

地球市民交流センター

愛・地球博記念公園に建設された、多目的ホールです。建物のテーマが「環境」の為、水性フッ素樹脂塗料の採用となりました。下地調整材とカラークリヤーによる仕上げで、打ち出しコンクリートの自然な風合いが出ています。

- 所在地：愛知県名古屋市
- 竣工：2010年(平成22年)
- 設計：山下設計
- 施工：土屋組共同企業体
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロン水性AC-SR工法



CASE 19
2010

NACK5スタジアム大宮

ここは大宮アルディージャのホームスタジアムです。また日本では珍しいイングランドスタイルの為、ピッチレベルまで下げられた観客席は選手との距離が非常に近く感じられる魅力あふれたサッカー場です。壁面にはフッ素樹脂クリヤーが施され、コンクリートの保護、落書き防止機能を維持しています。

- 所在地：埼玉県さいたま市
- 竣工：2007年(平成19年)
- 設計：NTTファシリティーズ
- 建主：さいたま市
- 施工：戸田建設
- 下地素材：コンクリート
- 塗装工法：ボンフロンACドライ+落書き防止クリヤー
ボンフロン水性AC-SR

Discussion

30年のあゆみ 座談会 2001-現在【進化】編

●約30年の歴史の中で、フッ素樹脂塗料は毎年伸びてきた。こういう商品はなかなかないでしょうね。

●一般建築に留まらず、いろいろな工業製品や防食分野、戸建など対象がどんどん広がってきたからでしょうね？

●特に15年前頃、マンションが超高層化してフッ素の需要が急拡大した。

●その頃からPC施工もどんどん増えてきたんだよね。

30年の歴史の中、 毎年伸びてきたフッ素樹脂塗料。

●「戸建」分野はいつ頃に始まったの？

●2006年頃から本格化し始めたね。

●4年しか経っていないけど、これだけ伸びているのは、プロの世界だけではなく、一般の方の間でもフッ素が認められてきたということだね。

●フッ素の認知度が上がれば上がるほど、各方面からいろいろな要望が出てくるようになってきたね。

長谷川 慶太
塗料事業部



新倉 徹也
塗料事業部



佐久 学
東北支店



菊池 浩
西日本支店



川崎 敬之
コーティング事業部



小野 拓也
塗料事業部



●耐候性だけでは満足いただけなくて、塗り易さとか意匠性とか機能性とか。

●それになんとか応えてきたから今日の姿があるんですね。

●でもずいぶん研究・開発にはお金と人をかけてきましたね。

●でもそうしたから「信頼」を獲得したんでしょうね。

●いいことばかりでもなかった。決して順調に成長したわけじゃなく、結構問題も発生し、授業料を払いましたよ。

●会社として初めての経験したこと、営業担当として初めて体験したことで、四苦八苦したことは、今となってはいい思い出です。

●でもそうした失敗みたいなものを必ず「糧」にしてきましたよね。お客様にはそのとき迷惑をおかけしましたが、解決の努力を評価していただいて、かえって信頼感を得ることもできたしね。

●話は変わるけど、今年はサンバリアの反応がすごかったね。去年と市場の反応が全然ちがった。

●異常な暑さだけではなく、世の中が「環境」に相当敏感になってきたんだね。

●お客様の期待に応える商品が提供できることは本当にうれしいことだね。

●採用していただいたお客様から褒められたけど、これこそウィン/ウィンなんだと実感しましたよ。

●自分が手がけた物件は、完成するとなんだか「自分の作品」のように感じるね。

●苦労が多ければ多いほど愛着も感じるし、思い出も深い。

●そういう気持ちを持つのは営業冥利につきるね。

●さっき、戸建の話が出たけど、どういう風に進めたの？

●旭硝子の発案でスタートしたのは知っていると思うけど、実際に塗料を提供する立場で、このシステムのコンセプトをディ-

ラーさんや施工店さんに理解していただくことに相当な時間をかけたよ。

●すんなり行かなかったの？

●これまでは「商品売る」もんだと思っていたものから「【コンセプト+システム】を売り込む」という結構ハードルの高い取り組みだったしね。

●でも、初めてのことの割には理解して頂いた。お施主様のご理解と関係者の努力が大きかったと思う。それだから今うちの会社で「戸建」が重要な分野になったんだと思う。

自分が手がけた物件は 「自分の作品」。

●建築関係の話が多いけど、防食分野のことを忘れてもらっては困るよ。

●もちろんですよ。今や当社の重要な柱になっているものね。

●防食分野がここ数年大きく伸びているのはどうして？

●フッ素の認知度が格段に進んだところに、鋼道路橋便覧で、「改修はフッ素」となったことが大きいと思う。

●橋は勿論だけど、各種鉄塔や金属構造物関係ではフッ素抜きには語れないほどになってきたね。

●だからこれからいろいろなニーズが上がってくると思う。


●開発陣もこれまで以上に忙しくなるね。

●暇じゃ困るよ。長期間で本当の性能が試されるこういう分野こそやりがいがあるよ。

●頼もしいね。

●ハイ！





30年、歩んできたボンフロン。
これからも、皆様に安心を届けるよう、
さらなる進化を目指して—————

施工事例集

工法別掲載

	工事名称	所在地	設計事務所	元請	工期	躯体	掲載ページ	
C工法	1982～1990							
	後楽園ホール	東京都	日建設計	竹中工務店	S58.04	GRC板	P.9	
	第25森ビル	東京都	入江三宅設計	日本ビゾー	S59.05	吹付		
	桜ヶ丘総合開発ビル	東京都	日建設計	大成建設	S60.10	ボード		
	新宿伊勢丹(改修)	東京都	清水建設	清水建設	S60.10	GRC	P.9	
	東京工科大学	東京都	久米建築事務所	熊谷組	S60.11	GRC		
	浅草ティオーシーROXビル	東京都	大成建設	大成建設	S61.01	RC-PC		
	工藤商店りんご冷蔵庫	東京都	弘南建設	弘南建設	S61.08	スレート		
	秀和TBRビル	東京都		ヤナセ	S61.12	押出板		
	秀和パークビル	東京都		ヤナセ	S61.12	吹付		
	東京工科大学 第2期	東京都	久米建築事務所	熊谷組	S61.12	GRC-RC		
	秀和紀尾井町ビル(改修)	東京都		ヤナセ	S62.01	吹付		
	ホテル紅屋	東京都	長野県	戸原建築設計研究所	S62.05	RC		
	三菱ビル(改修)	東京都		竹中工務店	S62.08	PC		
	佐倉ゆゆうの里	千葉県	三宅設計	大成建設	S62.11	RC		
	中央区立留鳥小中学校	東京都	横河建築設計事務所	共同企業体	S62.12	RC		
	史跡 湯島聖堂大成殿(改修)	東京都		大林組	S63.02	RC	P.10	
	第一勧業銀行事務センター(改修)	東京都		清水建設	S63.03	吹付		
	ホテルオオクラ新潟(改修)	新潟県		大成建設	S63.03	吹付		
	千代田倉庫	東京都		東建サービス	H01.03	RC		
	昭和薬科大学	東京都	久米設計	飛鳥・東急JV	H01.09	RC		
	日本歯科大学	東京都	鹿島建設	鹿島建設	H02.02	押出板		
	旭硝子京浜工場(改修)	神奈川県		松屋工務店	H02.06	スレート		
	1991～2000							
		新日鉄総合技術センター	千葉県	新日鉄	大成建設JV	H03.02	押出板	
		稲毛高浜南住宅(改修)	千葉県	協和設計	東急コミュニティ	H03.11	吹付	
		東シヨッピングセンター	宮城県	日建設計	大成・鹿島JV	H04.05	PC	
		学習院大学	東京都	菊川清建築設計事務所	鹿島建設	H04.05	PC	
		日本開発銀行丸山寮	東京都	日本設計	清水建設	H05.02	RC	
	鹿島建設九州支店ビル(改修)	福岡県	鹿島建設	鹿島建設	H05.03	RC		
	新横浜スクエアビル	神奈川県	竹中工務店	竹中工務店	H05.06	PC		
	広島新空港ターミナル	広島県	松田平田設計	竹中・住友JV	H05.07	PC		
	東北北豊島工業高校	東京都	藤沢設計	大林組	H06.12	RC		
	東京海上火災本社ビル(改修)	東京都		竹中工務店	H06.12	タイル	P.14	
	消防庁多摩防災基地	東京都	石本建築事務所	松村組JV	H07.09	PC		
	昭和音楽大学(改修)	神奈川県		清水建設	H07.09	吹付		
	東京海上火災本社ビル(改修)	東京都		竹中工務店	H07.09	タイル	P.14	
	大阪城天守閣(改修)	大阪府	東畑建築事務所	大林組	H08.08	RC	P.14	
	防衛庁十条地区(7)庁舎A	東京都	石本建築事務所	前田建設工業JV	H09.02	RC		
	豊島清掃工場煙突	東京都	大林組	大林組	H10.09	RC	P.15	
	ドコモ千葉港ビル	千葉県	NTTファシリティーズ	大成建設	H10.10	PC		
	オリコ大井町ビル	埼玉県		清水建設	H11.04	PC		
	長町駅前再開発	宮城県		大成建設	H11.11	RC		
2001～現在								
	大林組 本社ビル(改修)	大阪府	大林組	大林組	H13.09	PC	P.22	
C-SR工法	1991～2000							
	恵比寿駅ビル	東京都	交建設計	鉄建建設JV	H08.07	PC		
	2001～現在							
	大阪大林本店ビル(改修)	大阪府	大林組	大林組	H13.09	PC		
	NTTコム墨田ビル	東京都	NTTファシリティーズ	竹中工務店	H15.02	GRC		
	ドコモ九州福岡新ビル	福岡県	NTTファシリティーズ	鹿島建設	H15.02	GRC		
	IHI本社ビル	東京都	日建設計	清水建設	H16.11	PC	P.26	
銀座イースト	東京都	日建ハウジングシステム	清水建設	H17.11	PC			
虎4計画住宅棟	東京都	鹿島建設	鹿島建設	H18.01	PC			
MM21-33街区開発計画	神奈川県	三菱地所設計	大成建設	H19.07	ALC			
1991～2000								
東京貨物ターミナル	東京都	日建設計	フジタ	H04.06	押出板			
目黒区三宿住宅駐車場	東京都	現代設計	淺沼組	H10.12	PC			
2001～現在								
エルサタワー32	埼玉県	鹿島建設	鹿島建設	H13.09	PC			
明治生命小田急ビル(改修)	東京都	三菱地所設計	竹中工務店	H14.01	吹付			
汐留O街区S棟	東京都	大成建設	大成建設	H14.01	PC			
アオキトランス焼津(改修)	静岡県		東海興業	H17.10	吹付			
武蔵浦和駅前再開発	埼玉県	アール・アイ・エー	大成建設	H20.04	PC			

	工事名称	所在地	設計事務所	元請	工期	躯体	掲載ページ
HBC-SR工法	1991～2000						
	千葉火力発電所 煙突	千葉県	東電設計	飛鳥・鹿島JV	H09.06	RC	
	都営北青山団地B	東京都	久米設計	松井建設	H11.04	PC	
	電源開発横浜火力発電所サイロB	徳島県	開発設計	鹿島建設JV	H11.05	RC	P.17
	国立スポーツ科学センター	東京都	教育施設研究所	フジタ・奥村JV	H12.06	RC	
	南本牧埠頭公社	神奈川県	松田平田設計	鹿島建設	H12.11	押出板	
	2001～現在						
	ヨコハマポートサイドF1	神奈川県	三菱地所設計	鹿島建設	H13.04	PC	
	東京流通団地B棟	東京都	三菱地所設計	大林組	H13.06	RC	
	栃木県工業技術センター②	栃木県	久米設計	共同企業体	H14.04	RC	
	東京団地倉庫 平和倉庫A	東京都	三菱地所設計	清水建設	H14.09	RC	
	東京団地倉庫 平和倉庫B	東京都	三菱地所設計	大林組	H14.09	RC	
	東京工科大学研究所棟	東京都	久米設計	鹿島建設JV	H14.10	GRC	
	ポートサイドF1②	神奈川県	三菱地所設計	鹿島建設	H15.04	PC	
	文化シャッタービル	東京都	久米設計	大林組	H16.03	押出板	
	ヨコハマポートサイドA3街区住宅棟	神奈川県	三菱地所設計	鹿島建設	H18.08	ALC	
	東京ミッドタウンプロジェクトA棟	東京都	日建設計	竹中工務店JV	H18.09	押出板	
	MMタワーオースバル	神奈川県	三菱地所設計	鹿島建設	H18.12	PC	
	森ノ宮医療大学	大阪府		鴻池組	H19.01	RC	
	MMタワーオースバルN棟	神奈川県	三菱地所設計	鹿島建設	H19.05	PC	
	八重洲北口再開発	東京都	日建設計	鹿島建設	H19.05	押出板	
	豊洲9-2街区	東京都	日建設計	鹿島建設	H20.05	PC	
	ソフトバンクサーバー棟	福岡県	日建設計	新日鐵エンジニアリング	H20.10	RC	
	つくば市新庁舎	茨城県	山下設計	清水建設	H21.12	PC・押出板	

	工事名称	所在地	設計事務所	元請	工期	躯体	掲載ページ
E工法	1982～1990						
	ラフォーレ琵琶湖	滋賀県	レーモンド設計	竹中・前田JV	S60.04	RC	P.10
	甲府駅ビル	山梨県	日本国有鉄道	間組・鉄建JV	S60.09	RC	
	中国電機工事本社ビル(改修)	広島県		フジタ工業	S60.10	吹付	
	京都B/K事務センター(改修)	京都府		竹中工務店	S61.01	吹付	
	日機通商城南倉庫	東京都	鹿島建設	鹿島建設	S61.01	RC	
	室見母子堂	福岡県	風土社設計	間組	S61.02	RC	
	DDI東京ネットワークセンター	東京都	竹中工務店	共同企業体	S61.07	RC	
	長崎大学医学部附属病院(改修)	長崎県	長崎大学	大成建設	S62.02	吹付	
	三菱銀行事務センター(改修)	東京都		戸田建設	S63.01	RC	
	旭硝子中央研究所(改修)	神奈川県	三菱地所	清水建設	H01.12	吹付	
	辰巳屋(改修)	福島県		菅野建設	H02.06	吹付	
	1991～2000						
	旭硝子(株)中津共同住宅(改修)	神奈川県		トウシン建設	H03.05	吹付	
	勝山城	福井県	SUS建築設計事務所	熊谷組	H03.09	RC	
	小田急明治生命ビル(改修)	東京都		竹中工務店	H04.08	吹付	
	鹿児島県南部清掃工場	鹿児島県	大建・アオイ美建JV	清水建設	H04.08	RC	
	鹿児島県南部清掃工場	鹿児島県	大建・アオイJV	清水建設	H05.08	RC	
	米沢市立第2中学校(改修)	山形県	鈴木陽一設計	相田建設	H05.10	RC	
	松戸ビルディング(改修)	千葉県	三菱地所	大成建設	H05.11	吹付	
	吹田さんくす2番館(改修)	大阪府		竹中工務店JV	H06.06	吹付	
	葛西花木市場	東京都		大成建設	H06.12	RC	
	東京湾水更津人工島	千葉県	協和コンサルタント	佐藤工業JV	H09.05	吹付	
	門真プラザ(改修)	大阪府		竹中工務店	H09.06	吹付	
	川崎FA22	神奈川県	日建設計	清水建設JV	H09.10	RC	
	2001～現在						
	旭硝子相模中津住宅	神奈川県		旭サービス	H14.01	吹付	
	島本町嵐山崎住宅(改修)	大阪府		鴻池組	H15.05	吹付	
	志賀町総合学校 校舎	石川県	双昌設計	大成建設	H18.10	RC	
伊良湖ガーデンホテル(改修)	愛知県			H21.06	吹付		
1982～1990							
アーク根根ビル	東京都		沖浦建設	H01.12	RC		
大田花木市場	東京都	日建設計	熊谷組	H02.02	RC		
INAX知多物流センター	愛知県	日建設計	共同企業体	H02.06	RC		
国立第13少年自然の家	長野県	建設省	間・戸田JV	H02.06	RC		
NTT関目ネットワークセンター(改修)	大阪府	NTT	銭高組	H02.07	RC		
宇都宮駅ビル	栃木県	交通建築設計	鉄建建設	H02.09	ALC		
日本生命鶴沼寮	神奈川県	東急建設	東急建設	H02.11	RC		
三菱信託銀行芳賀ビル	栃木県	三菱地所	共同企業体	H02.11	RC		

	工事名称	所在地	設計事務所	元請	工期	躯体	掲載ページ
HBE 工法	1991～2000						
	横須賀シーサイドウ	神奈川県	アール・アイ・イー	共同企業体	H03.02	RC	
	山之内製薬北九州物流センター	福岡県		鹿島建設	H04.06	RC	
	大千葉ポートセンター	千葉県	松田平田設計	松村組	H04.10	ALC	
	板橋花き市場	東京都	坂川設計	フジタJV	H04.11	RC	
	中野四丁目東地区再開発	東京都	アール・アイ・イー	戸田建設JV	H06.07	ALC	
	安田生命つじヶ丘(改修)	東京都		小宮工務店	H06.10	RC	
	川崎市立中島中学校	神奈川県		大山・大倉JV	H06.11	RC	
	岩崎学園(改修)	神奈川県	SEO設計	大林組	H07.03	吹付	
	多賀城ゾーン(改修)	宮城県		鹿島建設	H07.04	RC	
	中央足立市場	東京都	日本設計	大成建設JV	H07.05	RC	
	小田急北本マンション(改修)	埼玉県		小田急建設	H07.06	RC	
	三菱商事小杉住宅	神奈川県	三菱地所設計		H07.09	PC	
	NTT鹿野住宅(改修)	宮城県	NTTファシリティーズ	第一建設	H08.04	RC	
	大井水産物専門埠頭冷蔵屋上	東京都		神興建設	H09.02	吹付	
	伊勢崎市民病院	群馬県	久米設計	大成建設	H10.01	RC	
	大井水産物専門埠頭上(改修)	東京都	東京都	岩崎工務店	H10.02	吹付	
	横浜環境事業局旭工場(改修)	神奈川県	東畑建築事務所	清水建設	H10.12	吹付	
	大井水産3号棟(改修)	東京都	東京都	神山工務店	H11.03	吹付	
	京セラ第2ホテル	鹿児島県	黒川紀常建築都市設計事務所	清水建設	H12.12	RC	
	南海病院(改修)	徳島県	勝瀬建築設計	姫野組	H12.12	吹付	
	安田倉庫沼南物流センター	千葉県	松田平田設計	大成建設	H12.12	RC	
	2001～現在						
新川	東京都		間組	H13.01	ALC		
ホーユー-桜が丘	愛知県	熊谷	熊谷・鹿島JV	H13.01	ALC		
東京洗谷清掃工場	東京都	竹中工務店	東急・竹中JV	H13.04	RC		
成田空港第一旅客ステーション(改修)	千葉県	日建設計	鹿島建設	H14.05	吹付		
銀座メルサ(改修)	東京都	丸ノ内設計	竹中工務店	H14.09	吹付		
浦舟福祉施設(改修)	神奈川県		大林組	H16.02	吹付		
松江市立病院	鳥取県	石本建築事務所	大林組JV	H17.02	RC	P.27	
浜野3丁目再開発	東京都	佐藤総合計画	大成建設JV	H17.06	ALC-RC		
ホワイテプラザ湯沢Vプラージュ	新潟県	協和建築設計事務所	安藤建設	H17.08	RC		
天野回廊倉庫	静岡県		鈴与建設	H20.09	ALC		
2001～現在							
九州大学工学部実験棟	福岡県	類設計室		H17.03	ALC		
KDDI多摩技術センター(改修)	東京都	KDDI	竹中工務店	H18.02	吹付		
M工法	1982～1990						
	中央卸売市場本棟・水産棟	愛知県	名古屋市	銭高・妻島JV	S61.08	鋼板	
	新宿三井ビル(改修)	東京都		第1整備	S61.12	アルミ	P.10
	中央卸売市場水産棟	愛知県	名古屋市	銭高・妻島JV	S61.12	鋼板	
	NTT大手町(改修)	東京都	NTT	共立建設	S63.02	メッキ	
	スタンレー電気薬野第2号	神奈川県	竹中工務店	竹中工務店	S63.08	鋼材	
	1991～2000						
	ナイカイ塩業(改修)	岡山県		ナイカイアーキ	H05.02	鋼材	
	旭硝子北九州工場(改修)	福岡県	範企画		H06.12	鋼板	
	小森マシナリー(改修)	山形県		後藤組	H07.09	鋼板	
	東京倉庫深川政府倉庫	東京都	日建設計	大林組JV	H08.03	メッキ	
	稲毛高浜南住宅(改修)	千葉県	協和設計		H10.03		
	新東京国際空港耐震工事	千葉県	松田平田設計	熊谷組	H10.04	鋼材	
	2001～現在						
	大林組 本社ビル(改修)	大阪府	大林組	大林組	H13.10	アルミ	P.22
	1991～2000						
	関東郵政局庁舎	埼玉県	丸ノ内設計	大成建設JV	H11.02	鋼材	
	東電富津火力タンク(改修)	千葉県			H12.09	鋼材	
	2001～現在						
	葛岡倉庫	宮城県		大成建設	H13.11	鉄骨	
	ファミール浜園	東京都	エムファシリティーズ	建築工業	H17.05	鋼板	
	1991～2000						
	小森マシナリー(改修)	山形県			H08.06	鋼板	
魚津テクノスポーツドーム	富山県	久米設計	竹中工務店他JV	H10.01	鋼材	P.15	
2001～現在							
海老名駅前中央公園再開発	神奈川県		小田急建設	H14.01	アルミ		
美浜東エステート(改修)	千葉県		藤和コミュニティ	H16.10	鋼材		
2001～現在							
鐘塚再開発	埼玉県	三菱地所設計	大成建設	H15.05	鋼材		

	工事名称	所在地	設計事務所	元請	工期	躯体	掲載ページ
HBM-SR 工法	2001～現在						
	法政大学多摩14号館総合体育館(改修)	東京都	山下設計	清水建設	H17.08	鋼板	
P工法	1982～1990						
	相模原市健康文化センター	神奈川県	山下設計	西野・大島JV	S58.08	RC	
P工法	大崎再開発3号棟	東京都	協立建築設計事務所	大成建設JV	S60.10	PC	
	桜ヶ丘総合開発Aビル	東京都	京王技術センター	鹿島建設	S60.10	RC	
	南部市場(改修)	神奈川県	横浜市	鹿島建設	S60.11	RC	
	旭硝子五井寮社宅A棟	千葉県	橋建築事務所	熊谷・西松JV	S61.01	PC	
	大庭中学校	神奈川県	藤沢市	大國工務店	S61.01	RC	
	崎陽軒	神奈川県	山下設計	大林・第一JV	S61.07	RC	
	京急川崎駅高架橋(改修)	神奈川県	日建設計	鹿島・東急JV	S61.09	GRC・PC・RC	
	多摩サンリオワールドコミュニティ	東京都	梓設計	共同企業体	H02.04	RC・PC	
	1991～2000						
	阪神高速湾岸線	大阪府		サトウエンジニアリング	H03.03	ALC	
	聖路加タワー	東京都	日建設計	鹿島建設JV	H04.08	CFRC	
	大船給水所	東京都		西松・安部JV	H05.11	RC	
	国立ガンセンター中央病院新棟	東京都	横河建築設計事務所	佐藤・大成JV	H09.08	RC	
	日航ホテル(改修)	千葉県		竹中工務店	H09.09	吹付	
	1982～1990						
	佐鶴湖パークタウン	静岡県	観光企画設計社	清水建設	H01.05	RC	
	札幌長水路プール	北海道		岩田・山崎JV	H01.05	GRC	
	札幌第一パークハイブ(改修)	北海道			H01.06	RC	
	保土ヶ谷スポーツセンター	神奈川県	シグマ設計	松尾工務店	H01.07	RC	
	横浜市立総合体育館	神奈川県	日建設計	大成建設	H01.07	RC	
	後楽園プラザ	東京都		丹下都市建築設計	H02.11	RC	
	1991～2000						
	HK南千住G棟	東京都	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	H04.04	RC	
日本電装幸田705工場	愛知県	竹中工務店	竹中工務店	H04.06	PC		
都立駒場高校	東京都	三信設計	共同企業体	H04.10	RC		
小樽情報ソフトウェア	北海道	阿部建設	阿部建設	H04.11	RC		
山形高度技術センター	山形県	久米設計	フジタ	H05.03	RC		
熊本市東部清掃工場	熊本県	大成建設	西松建設	H05.09	RC		
国立ガンセンター中央病院新棟(改修)	東京都	横河建築設計事務所	佐藤・大成JV	H09.02	PC		
プラザハウス(改修)	沖縄県		戸田建設	H09.02	RC		
三和本社物流センター	東京都	日本設計		H10.08	RC		
横浜倉庫品川埠頭庫	東京都	日建設計	大成建設	H12.07	RC		
2001～現在							
石神井公園駅北口再開	東京都	I.N.A新建築研究所	鹿島建設	H13.11	ALC		
1991～2000							
旭硝子千葉工場総合寮	千葉県	旭サービス	清水建設	H10.07	RC		
2001～現在							
ルートイン青森	青森県		佐々木建設工業	H14.04	押出板		
ナノ生命実験棟	茨城県	アールアイイー-日本設計JV	鴻池組	H15.11	RC		
相模原市営田名塚団地③	神奈川県	国設計	小山建設	H17.11	RC		
1991～2000							
DDI第2ネットワークセンター	東京都	竹中工務店	竹中工務店	H09.01	RC		
P-C工法							
日航ホテル(改修)	千葉県		竹中工務店	H10.04	吹付		
1991～2000							
恵比寿駅ビル	東京都	交建設計	鉄建建設JV	H08.07	RC		
2001～現在							
東京ビル	東京都	三菱地所設計	鹿島建設	H17.02	PC	P.25	
1991～2000							
マレーシア大使館	東京都	清水建設	清水建設	H03.07	GRC		
北多摩看護学校	東京都	アルコム	戸田・池田JV	H04.02	RC		
城西国際大学	埼玉県	アーキテクト建築研究所	清水建設	H04.02	RC		
立教大学池袋キャンパス	東京都	日本設計	戸田建設	H04.02	RC		
東大和重心身生涯施設	東京都	アルコム	佐藤・松村JV	H04.04	RC		
江戸東京博物館	東京都	菊竹清訓建築設計事務所	鹿島建設	H04.05	RC		
アマガ研研棟	神奈川県	永松賢一・遊建築研究所	鹿島建設	H04.08	RC		
諫早小ヶ倉倉庫	長崎県		佐藤工業	H04.10	RC		
国立劇場(改修)	東京都	インターメディアA	竹中工務店	H05.03	RC		
多摩南部医療施設棟	東京都	横河建築設計事務所	佐藤工業JV	H05.03	RC		
船橋市総合体育館	千葉県	教育施設研究所	前田・浅沼JV	H05.05	RC		
コレジオオーネ(改修)	東京都	安藤忠雄建築研究所	黒部工業	H06.06	RC-PC		
吉祥寺老人ホーム	東京都	鬼頭梓設計	鉄建建設JV	H06.09	RC		
関東防災教育センター	東京都	類設計室	大林組	H06.12	RC		

いつもご協力頂いております関係者の皆様方に感謝して
この場を借りてお礼申し上げます。
これからもより一層のご愛顧をお願い致します。

BONNIFLON®
30th
☆☆☆ Anniversary
1982~

安心と信頼の積み重ね

BONNFLO[®]

30年の軌跡

AGCコーテック株式会社 <http://www.agccoat-tech.co.jp>

本社	〒101-0054	東京都千代田区神田錦町2-9	コンフォール安田ビル5F
塗料事業部	〒101-0054	東京都千代田区神田錦町2-9	コンフォール安田ビル5F
西日本支店	〒550-0011	大阪府大阪市西区阿波座2-2-18	大阪西本町ビル11F
東北支店	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡2-2-11	パスコ仙台ビル9F

TEL : 03-5217-5100	FAX : 03-5217-5105
TEL : 03-5217-5101	FAX : 03-5217-5106
TEL : 06-6578-2801	FAX : 06-6578-2802
TEL : 022-299-6365	FAX : 022-299-6368



この印刷物は地産地消・輸送マイ
レージに配慮したライスインキを
使用しています。



ルミフロン[®]は旭硝子(株)の登録商標です。 ボンフロン[®]はAGCコーテック(株)の登録商標です。
2011.01.5000.TOY